

別記

1 事業者の名称及び主たる事務所の所在地

名称：日野自動車株式会社
代表者：代表取締役社長 近藤 詔治
所在地：東京都日野市日野台3丁目1番地1

2 対象事業の名称及び種類

名称：日野自動車株式会社新工場建設事業
種類：工場の設置

3 対象事業の内容の概略

本事業は、東京都青梅市黒沢一丁目746番地他に位置する採石場跡地に、日野自動車が、国内の既存工場（日野工場（東京都日野市所在）羽村工場（東京都羽村市所在）新田工場（群馬県太田市所在））で加工、組み付けしたキャブ、シャシーフレーム等のトラック組み付け部品を、海外工場に輸出して現地で組み立てするのに適した部品に再加工する業務、国内外の日野ブランド車販売会社への修理用サービス部品の加工、集配拠点としての業務、関東圏の販売会社向けトラック荷台部分パネル等の組立、車体への組み付け業務、トラックを構成する部品の加工・組立業務、以上4業務を行うための工場を建設するものである。

対象事業の概略は、表1に示すとおりである。

表1 対象事業の内容の概略

項目	内容
計画地	東京都青梅市黒沢一丁目746番地 他
用途地域	市街化調整区域（全域）
敷地面積	約309,000 m ²
建築面積	約117,800 m ² （KD(Knock Down)工場48,000 m ² 、補給部品工場32,400 m ² 、架装工場24,000 m ² 、部品工場12,400 m ² 、厚生施設（食堂）1,000 m ² ）
延床面積	約122,400 m ²
建築物の概要	地上1階建て（一部中2階）、鉄骨造（高さ約10m）
主要用途	KD(Knock Down)工場、国内外販売会社向補給部品工場、トラック荷台組立・組付工場、車両部品工場
工場稼働状況	稼働日数244日（土・日・祭日除く） 稼働時間：8:00~16:55 ただし部品工場のみ6:30~15:20、17:15~02:05の二交替制
駐車台数	約570台（従業員用540台、来客用30台）
工事予定期間	造成工事：平成19年5月~10月（工期6ヶ月） KD工場(1期)・厚生施設：平成19年10月~平成20年5月（工期8ヶ月） 補給部品工場：平成21年1月~平成21年12月（工期12ヶ月） 架装工場：平成23年1月~平成23年12月（工期12ヶ月） KD工場(2期)：平成24年1月~平成24年12月（工期12ヶ月） 部品工場：平成25年1月~平成25年12月（工期12ヶ月）

4 環境影響評価の項目

環境影響評価を行う項目の選定は、対象事業の内容をもとに環境に影響を及ぼすおそれのある環境影響要因を抽出し、地域の概況等を勘案して環境影響評価の項目を選定した。

選定した項目は表2に示すとおり、大気汚染、悪臭、騒音・振動、水質汚濁、地形・地質、生物・生態系、景観、廃棄物、温室効果ガスの9項目である。

表2 環境影響要因と環境影響評価の項目との関連表

環境影響評価の項目	予測する事項	区 分			工 事 の 完 了 後		
		工 事 の 施 行 中	工 事 の 施 行 中	工 事 の 施 行 中	建 築 物 の 存 在	施 設 の 稼 動	関 連 車 両 の 走 行
		造 成 工 事	施 設 の 建 設	工 事 用 車 両 の 走 行			
大 気 汚 染	・ 工事の施行中における建設機械の稼働に伴う二酸化窒素及び浮遊粒子状物質の大気中における濃度						
	・ 工事の施行中における工事用車両の走行に伴う二酸化窒素及び浮遊粒子状物質の大気中における濃度						
	・ 工事の完了後における関連車両の走行に伴う二酸化窒素及び浮遊粒子状物質の大気中における濃度						
	・ 工事の完了後における工場施設の稼働に伴う二酸化窒素の大気中における濃度						
悪 臭	・ 工事の完了後における工場の稼働に伴う臭気						
騒 音 ・ 振 動	・ 工事の施行中における建設機械の稼働に伴う騒音・振動						
	・ 工事の施行中における工事用車両の走行に伴う騒音・振動						
	・ 工事の完了後における工場施設の稼働に伴う騒音・振動・低周波音						
	・ 工事の完了後における関連車両の走行に伴う騒音						
水 質 汚 濁	・ 工事の施行中における造成工事に伴う濁水						
土 壌 汚 染							
地 盤							
地 形 ・ 地 質	・ 切土、盛土工事における斜面の安定性						
水 循 環							
生 物 ・ 生 態 系	・ 工事の完了後における緑地整備に伴う緑の量の変化						
日 影							
電 波 障 害							
風 環 境							
景 観	・ 工事の完了後における計画建築物による地域景観の特性の変化の程度及び代表的な眺望地点からの眺望の変化の程度						
史 跡 ・ 文 化 財							
自 然 と の 触 れ 合 い 活 動 の 場							
廃 棄 物	・ 工事の施行中における建築工事に伴う建設発生土及び建設廃棄物の発生量						
	・ 工事の完了後における工場の稼働に伴う廃棄物の発生量						
温 室 効 果 ガ ス	・ 工事の完了後における工場の稼働に伴う二酸化炭素の排出量及びその削減の程度						

注： 印は、予測評価を行う必要があると認められる環境影響評価の項目を示す。